

矢祭町地域おこし協力隊は、町外のさまざまな地域から集まり、地域づくりに貢献しています。

現在町内にいるのは8名。各メンバーは、JR水郡線東館駅を中心とした地域の場合づくり、文化振興、地域食材を使った商品開発、読書の町づくり推進、スポーツ振興など、多岐にわたるジャンルで活動中です。

町内で協力隊の活動をお見かけの際は、お気軽にお声がけください！



これまで、楽しみながら体を動かすことができるようにと、参加ハードルの低い“ウォーキング”イベントを、月1回のペースで行ってきました。小さいお子さんから年配の方まで、幅広い年齢層で活動できるのも良いところです。簡単にできるのに、昔に比べ歩くことが少なくなり、その良さを忘れかけています。参加された方には、その時ごとに新たな発見があるようです。車移動では景色が流れていきますが、歩いたら様々な魅力あるものが道端にあふれていることに気づきます。出会った町の人との何気ないあいさつに心が温まります。子どもたちは、最近町の地図が書けなくなったと聞きますが、町内を車で移動するため、目的地＝町に散らばる“点”としての認識が、歩くことで“線”となり、さらに活動範囲を広げて“面”となっていけば良いなあと思います。8月にはナイトハイクで、みんなで高台から矢祭町の夜景を見ましたが、みなさんは見たことはありますか？

余裕があるときには車をやめて、ときどき歩いてみませんか？きっと、おもしろい何かに出会えますよ！

こんにちは！ 大羽です。寒い冬が来てしまいました。本格的に寒くなる前に大掃除をしよう！と毎年思っているのですが、後回しにして結局凍えながらやっています（笑）皆さんの大掃除スケジュールはいかがでしょうか？

さて、10月30日（水）丸安魚店さんとのコラボイベント「とても詳しい煮魚解説～魚の煮付けのレシピを読み解く～」を行いました。レシピの工程の意味やその理由を丸安さんに解説していただきながら、ぶりの煮付けを作りました！ レシピ本を読み解くという視点から、本と料理をうまく組み合わせたイベントになったと自負しています（笑） 加えて告知に力を入れようということで、「南蛮」や「小倉」など、何なのかは分かるけど詳しく説明できない料理用語のクイズを出していました。（詳しくは図書館instagramのハイライトをチェック！）

レシピ本を読み解くことでいつもよりおいしく料理が作れるように、「本や読書は生活を彩るもの」そう皆さんに感じてもらえたら嬉しいです。

鳴瀬望 Nozomu Naruse

スポーツ振興担当

山形県鶴岡市出身。前職は小学校教員。トレイルラン、スキューバダイビング、旅行（海外）、ドラマを見るのが好き。

大羽未准 Minori Ooba

読書の町づくり担当

愛知県岩倉市出身。教育系の大学を卒業後、矢祭に来ました。好きなことは、読書、人とお話しすること、散歩。

